

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	日本介護サービス(株)		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 25日		~ R6年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	R6年 11月 25日		~ R6年 12月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの課題を毎回決めて行っているので個々の成長に合わせて支援を行っている。	個別支援計画の目標を元にしつつ、本人と相談して毎回頑張ることを頑張るカードを作り達成出来た際は帰りの振り返りの会で発表しシールを貼っている。(シール10枚達成で褒美)	今後も子供たちが主体的に遊びや活動内容を考えられるよう意見に耳を傾けていく。 その時の記録や意見を反映できるよう支援内容を充実させていく。
2	様々な障害を持った子供達が同じ場を共有して活動しているの で、個々の違いや自分の強みを意識出来る。思いやりを育める 場所になっている。	他者への思いやりを意識できるようお手伝いをお願いした際 には振り返りの会にて評価している。拍手されることシールを 貼ってもらえることで意識出来るよう支援している。 自分の強みが生かしていると感じられるよう感謝の言葉で伝え ている。	集団における役割の自覚や主体的な責任意識の育成 体験活動の実施など実社会への興味・関心を持つきっかけ 作り
3	事業所が高齢者施設と併設されている為様々な年代の方と交流 出来る。	コミュニケーションがとりやすいようデイサービスや色々な場 所で挨拶をし放デイの子供たちがいることをアピールして交流 している。デイサービスの場所に障がい者作品展で受賞した作 品などを展示させてもらい、みんなの頑張った成果を見ても らっている。	交流するには時間帯に限りがあるが、デイサービスと企画し て一緒にゲームを行ったり活動発表をしたり交流会を企画し たい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた施設運営。家族や地域の方が参加できる行事や 試み。	活動スペースの問題などもあり、少数での参加は可能であるが 参加者の希望が多数であった場合制限をしなければならない。 現在利用中の保護者様が個別に見学参加(相談員含む)につい ては規制せず参加してもらっている。	場所を変えて集まれる保護者会の提案。 ボランティアさんとの交流や活動。
2	情報発信の弱さ。おたよりなど紙媒体だけでなくホームページ での公表。面談時の丁寧な説明や連絡ノートの活用。	発信力の弱さ。毎月おたよりでの情報発信は行っているが、各 種マニュアルや事業所が行っている研修等分かりやすい発信が 出来ていない。	ホームページやSNSの活用。紙媒体ではなく気になった際に いつでも確認できるような公表のスタイルに変えていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 日本介護サービス(株)

公表日 2025年3月26日

利用児童数 26

回収数 26

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2	1	4	ぜひたくは言えないですが、もう少し広い方が良いと思います。	活動中の様子や活動場所の見学希望の方に つきまして、随時対応させていただきます。広 く使えるよう不必要な物品等は極力減らせ るよう対応していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17			8	よく子供のことを見てくださりありがと うございます。	支援内容や利用人数・安全性なども考慮し て職員を配置しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2		5		機能訓練室やトイレは車椅子でも入れるよ うバリアフリーです。また視覚的に分かり やすいよう絵カードを活用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1		1		毎日清掃消毒を行い使用しないものは室外 に移動しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	26					今後も継続した支援が出来るようにしてい きたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	23			3		不明点は面談時などで説明させて頂きま す。また見学は随時可能です。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	26					今後も継続した支援が出来るようにしてい きたいと思います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	23	1		2		不明点は面談時などで説明させて頂きま す。また具体的な支援内容についても説明 させて頂きます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26					今後も継続した支援が出来るようにしてい きたいと思います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	21	2		2		スタッフ間で固定化されないよう工夫して いきたいと思います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	7	3	2	10		現在は計画しておりません。ご利用者様か らのご要望があれば検討させて頂きます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	23					契約時に説明させていただいております。 不明な点はいつでも問い合わせいただけ たらと思います。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	24		1			「放課後等デイサービス計画」=個別支援 計画に同意・署名をいただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	4	10		家族等も参加できる研修会や情報提供の機 会等あれば提供していきたいと思いま す。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	23			1		送迎時の報告や連絡ノートでの報告、面談 等で共通理解できるようにしていきたい。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	4	1			面談だけではなく希望あれば相談等も随時 対応させていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25					今後も継続した支援が出来るようにしてい きたいと思います。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	7	11		ご家族様のご都合も様々ですので、現状は 保護者同士の交流の場を設定はしていま せん。ご希望あれば検討したいと思います。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	19	2		3		相談や申入れについていつでも相談可能 ですので今後も丁寧な説明をさせていただ きたいと思います。
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	21			1		利用時の連絡、報告を欠かさず行い、定期 的にコミュニケーションを取り、意思疎通 を図って行きます。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1	1			定期的な会報等も充実させていきたいと思っています。尚自己評価等の結果についてはホームページに記載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23				1	運営規定・契約書での説明させていただいているとおり取り扱いには十分注意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3		3		契約時に記入していただいた災害時対応ブックの内容に沿って緊急時は報告・対応させていただきます。マニュアルについては分かりやすくお伝えしたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	4		3		災害時対応ブックの内容に沿って緊急時は報告・対応させていただきます。障害別・災害別で対応出来る様工夫を行なっております。また避難訓練の様子はおたよりにて報告させていただいております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1		3		安全計画を策定しております。計画に沿って職員の研修・訓練を行っています。災害別に児童を含めた避難訓練についてはお便り等でお知らせします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	1			事故があった際には速やかに連絡するよう徹底していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24					今後も安心して通える放デイであるよう
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24					今後も楽しみにしてもらえよう支援内容を工夫して行きたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				いつもありがとうございます。	貴重なご意見ありがとうございます。今後も安心して頂ける支援を継続して行きたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		日本介護サービス (株)				公表日	2025年3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		構造化したスペースで学習、運動、制作等を行っている。休憩室を設けてクールダウンに利用したりしている。	二部屋利用しても狭い時はあるため不必要な物品は部屋から出すよう努める。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に応じ適切に配置している。	個別の支援時に子供たちの求めに応じられずに職員が手薄になってしまう場合がある。順番に対応しているが、個々の課題が異なるためそれぞれに気配りをしながら支援を行っている。出来ればその場で対応できるようにしていきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		部屋はバリアフリー化しており車椅子等でも問題なく出入りできる。絵カード等を使い分かりやすい部屋作りをしている。	それぞれの障がい特性に配慮し分かりやすく過ごしやすい環境づくりをしていきたい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行い、消毒も行なっている。児童の特性に合わせたレイアウトを工夫して過ごしやすいよう配慮している	椅子に座って過ごす子とマット上で過ごす子で分けているがミックスになることがあるため安全への配慮を怠らない	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて選択してもらっている	二部屋の為場所が足りないと感じる時がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議だけではなく職員の意見を取り入れている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ホームページにて公表	公表で終わりにするのではなく、個別の結果でご家族が気にされている点を面談時などに説明・報告出来るようにしていきたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議・面談等で意見交換を行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は行っていないが、他事業所の方や相談員さんと情報交換し業務改善に活かしている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内での勉強会を行っている。外部研修については情報提供し参加可能な方に参加してもらっている		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議内で検討した内容を反映させています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画の目標に個々の支援プログラムを反映させています。個別の頑張るカードの内容は本人と相談しているため毎回合致するわけではありませんが、職員は把握しておりプログラムに反映させています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って設定しています。	全職員にガイドラインの開覧・設定の必要性を理解してもらい、支援に活かしていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		会議やLINEグループでの提案を活かしています。		

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			適時改善していきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を個々の特性に合わせて組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ず全職員に情報共有できるよう配慮している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必ず全職員に情報共有できるよう配慮している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援の記録を共有し改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングを会議時に話し合い各職員の意見も反映している。面談時に報告させていただき個別支援計画に反映させている。	適切に見直していきたい
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供。を組み合わせで行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選んでもらう機会を作り様々な意思決定に向けて支援の工夫を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		心身の状況や本人または保護者の意向を踏まえ、適切なサービスの組み合わせを検討しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者の協力を得て各機関と連携させていただいています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		トラブルが無いよう事前に打ち合わせさせていただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		契約時に保護者の方から許可を得て情報共有させていただいております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		事業所から情報提供の希望がある際は保護者に許可を得て共有させていただいております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修は受けている。	スーパーバイズや助言の機会はない為検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	各種お祭りやイベント時におでかけ参加や施設利用で交流はしている。	特定の団体の子どもたちと交流の機会はないため検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		声がかかった際に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際もなるべくご家族にお伝えし、連絡ノート以外の情報も共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○		家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等あれば提供していきたいと思っております。
の提供	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただいております。また変更等ある際は文書にてお知らせを配布しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時に確認しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		「放課後等デイサービス計画」＝個別支援計画に同意・署名をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談は随時対応させていただきます。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		ご家族様のご都合も様々ですので、現状は保護者同士の交流の場を設定はしていません。ご希望あれば検討したいと思います。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		相談や申入れについていつでも相談可能です。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		毎月お便りにて活動概要や行事予定をお知らせさせていただいています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		見学や活動参加については随時募集しておりイベント時などは自社内の方に参加してもらっている。	ボランティアさんに来ていただいたりしているが、地域住民の方を招待などはしていない為今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		社内で安全委員会を作りBCPを作成している。利用者様から提供して頂いている災害時対応ブックの情報を活用できるよう組み込んでいる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		今年度から安全計画を作成してしています。	災害時対応ブックと連携させていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		災害時対応ブックにて緊急連絡先等確認しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		虐待防止委員会にて全職員対象に勉強会を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		虐待防止委員会にて全職員対象に勉強会を行っている。必要場合は委員会で決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載していく		